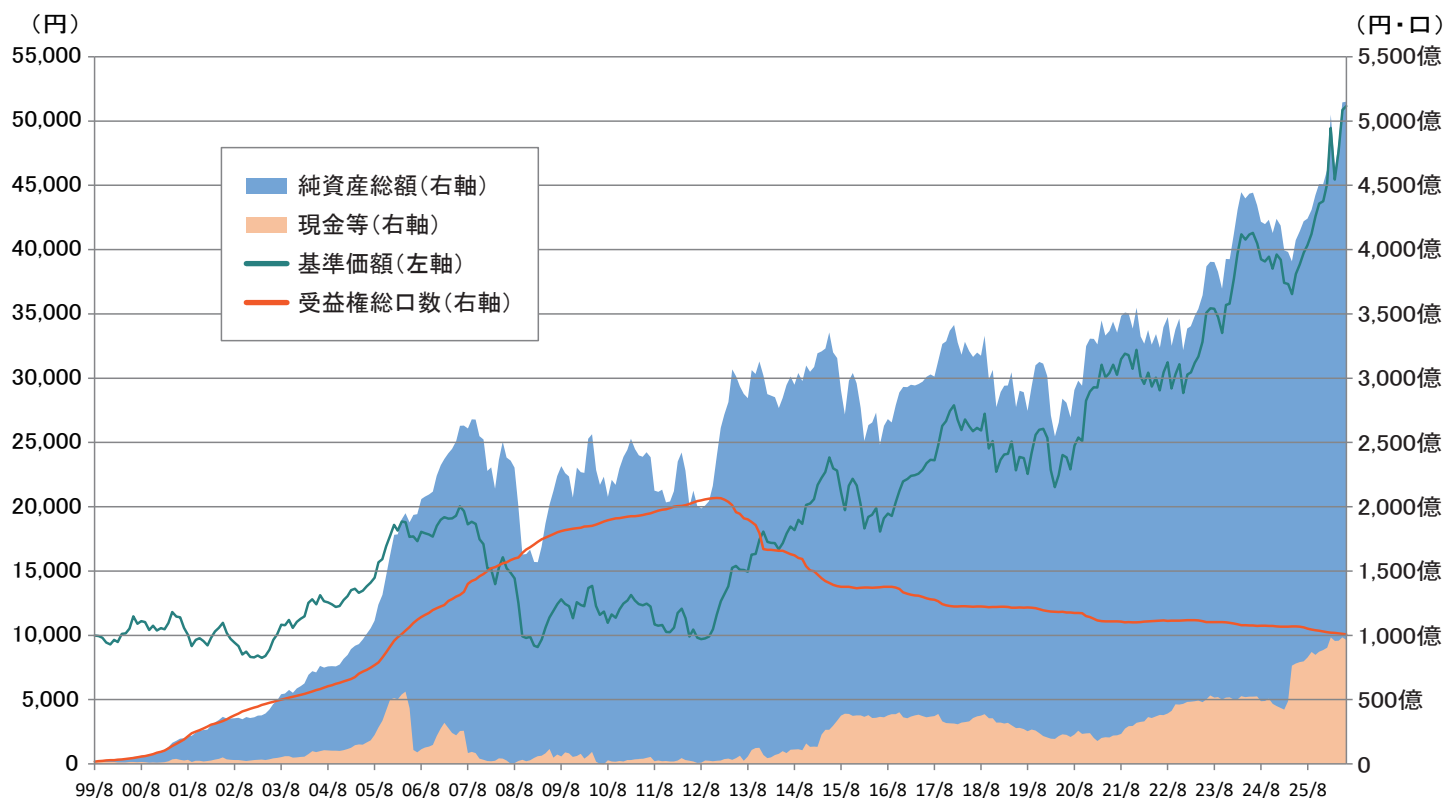


ファンド情報（基準価額・現金等・純資産総額・総口数の推移）



6月15日の定時株主総会にて、山下大作が取締役任期満了にて退任することとなりました。同日、株主提案により齊藤真、五味川昌の両名が新取締役として就任いたしました。以下、新任の齊藤、五味川よりご挨拶させていただきます。

取締役就任のご挨拶

取締役運用調査部長 齊藤 真

ファンド仲間の皆さま、この度取締役の任を拝命いたしました齊藤 真と申します。

2008年に入社のご縁をいただき先輩方の遠い背中を追ううちに、この度このような重責を任せていただけることになりました。「自立して堂々と生きていこう」の掛け声の下、リーマンショック、東日本大震災、コロナパンデミックなどの危機を皆さまと乗り越えてこられたこと、今では「改めて本当に直販で良かった」と腹落ちさせております。

ただ大切なのはいつもここからどうするかであり、感慨に浸っている場合ではないことも理解しております。足元では株式市場活況の裏で実体経済は歴史的にも地政学的にも大きな転換期を迎えており、私たちの日々の生活は不安定さを増しています。このような経済の大きなうねり乗り越え、これからの10年・20年・100年後も皆さまの財産をどっしりと育てていくという決意をここで新たにさせていただきます。

引き続き、ファンド仲間・投資先企業と共に三人四脚で「未来の価値」を育てていくような、さわかみファンドらしい運用を貫いてまいります。

取締役直販推進役 五味川 昌

34年前、「日本のために産業金融を」という熱い思いで銀行に就職し、「24時間戦えますか」と言われた外国為替業務を長く担当しました。バブル崩壊後、ドル円急落時の恐怖感、今でも鮮明に記憶しています。「輸出立国の日本は、このまま崩壊してしまうのか」という不安がよぎる一方で、日本の産業が持つ底力を信じ続けていました。時が経ち、日本の産業は見事に生き抜き、今では日本株も活況を呈しています。人々が強く願えば、物事は必ず良い方向へうまく進むと、私は信じています。人間に関しても同様で、一度仲間になった相手を徹底的に信じる、根っからの性善説の人間です。

今、私は、より良い世の中と次世代の夢のために全力を注ぎたいと考えています。長期投資については、できるだけシンプルに、信頼できるプロにお任せいただくことをお勧めします。そして、我々はお客さまに信頼される存在であり続けるよう、必死に努めます。「仲間が苦しむときは共に苦しみ、喜ぶときは共に喜ぶ」というお客さまとの一体感をモットーに、皆さまの未来に伴走してまいります。